

1日かぎりの こども本のびょういん

先生の手術どうぐ



のり

図書館では専用ののりを使っていますが、でんぷん糊や障子のりでも代用できます。

水

のりをそのまま使うと、接着部分が厚く硬くなってしまいますので、水で薄めて使います。

こて

のりを圧着する時に使います。

はさみ

ブックカバーフィルム

本を保護するための透明フィルムです。図書館で借りる本には、長くお使いいただくためにフィルムをかけている本が多くあります。

破れの補修



他のページにのりがかからないよう、シール台紙（クッキングペーパーで代用できます）を挟み、破れ目に、筆を使って、薄めたのりを塗ります。



シール台紙をあて、のりを塗った部分をこてで乾かします。ご家庭で修理する場合は、他のページがくっつかないように、接着箇所をクッキングシートで挟み、本を閉じて、重しをのせるとよいです。

外れたページの補修



外れたページに、筆を使ってのりを塗ります。補修したページは、台紙を挟み、輪ゴムなどでかけて1日閉じておきます。

表紙の補強



ブックカバーフィルムをかけると、大切な本を傷や汚れから守ったり、色あせを防止することができます。

入院手術

破れたページの補修：より長く本と付き合うための修復テクニック



ご家庭では、破れてしまったページを、セロテープで補修することがよくあると思います。

実は、セロテープやガムテープは、日が経つと劣化が目立ってしまい、また一度貼るとなかなかはがせないため、図書館では本の修理には使いません。

今回は、テープをはがし、表面を拭いたうえで、ベビーパウダーを筆でまぶしてのりのベタベタを取ったうえで、でんぷん糊で破れをつなぎました。

もしも、図書館から借りた本が破れてしまった場合は、返却後に修理を行いますので、ご家庭での補修はせずに、カウンターに一声かけたうえで、そのまま返却してください。

【参考図書】都南図書館には、本の修理の方法が学べる本があります。

- 「図書館員のための図書補修マニュアル」小原由美子（2000）教育資料出版会
- 「図書館員のための簡単な本の修理」高岡 容子（2019）少年写真新聞社
- 「図書の修理とらの巻」書物の歴史と保存修復に関する研究会（2017）濠標
- 「いちばんわかる手製本レッスン 手で作る本と基本技法」（2012）スタジオ タック クリエイティブ

